



11/5

第12回 計根別新そば祭り

中標津町交流センターにて開催され、たくさんの皆様にお越し頂き打ちたてのそばを振舞いました。



女性部 そば粉を使った「おやき」を配布



佐藤 4段

緑会

ソーセージ・ストリングチーズ研修

10月26日・11月2日、中標津町加工センターにて緑会会員5名とソーセージ研修を行いました。

今回は経験者の方ばかりだったため、少ない人数にもかかわらず手際よく作業を進め、美味しいソーセージ・チーズが完成しました。

《事務局 中野係》



女性部 フレッシュミズ

視察研修

10月27日フレッシュミズ会員3名が参加し、別海町西春別の株式会社オークリーファームにて視察研修を行いました。

今回はロボット牛舎の見学・投資計画をテーマとし、さまざまな施設を見学しました。

牛舎環境のことや施設の細かい工夫点など、多くのことを教えて頂きました。

《事務局 中野係》



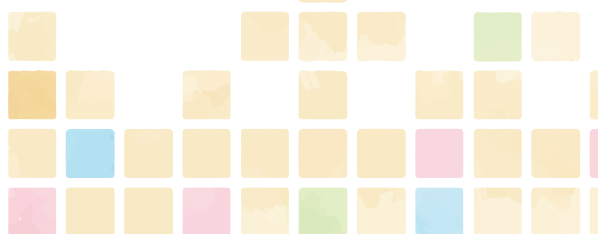
青葉会

タイルクラフトづくり

11月8日農協和室にて青葉会会員8名が参加し、タイルクラフト作りを行いました。

参加者全員が初めてタイルクラフトに触れることもあり、最初は慎重でしたが、徐々にコツをつかみ、参加者同士でアドバイスを行えるほどの上達ぶりでした。

《事務局 中野係》



JA北海道家の光大会

11月9・10日に行われた大会に、当JAから相澤舞子部長と味元玲子副部長が出席しました。

初日は東京大学大学院・鈴木氏による講演「TPP後の日本農業と食の安全～これからのJA女性組織の役割」が行われました。その後、家の光記事活用体験発表会が行われ、各地区6名の発表を聞きました。

懇親会では、初めて会う人と座ったこともあり、かなり緊張していたようですが、終わる頃には一緒にアトラクションを楽しんでいました。

2日目は家の光読み聞かせや作品展示の見学会が行われ、家の光の活用方法について深く考えることが出来ました。2日間大変お疲れ様でした。

《事務局 中野係》



女性部

道外視察研修

11月14日から16日まで、女性部員7名と事務局で石川県金沢市へ行ってきました。

兼六園や金沢城、妙立寺を見学し、夜には金沢の郷土料理を食べることで金沢の歴史を密に感じることが出来ました。

3日間と短い期間でしたが、帰りには家族へのお土産で荷物が一杯になっていました。

《事務局 中野係》

平成29年度 根室地区JA青年部大会 開催！



平成29年度 根室地区JA青年部大会 開催！



アームレスリング大会 石毛君初参戦！



パネルディスカッションにて、ポリシーブックの重要性を話す。
(パネリスト；黒田 栄継氏、安達 永補氏、久保 拓伸氏)

11月1日に『平成29年度 根室地区JA青年部大会』が開催されました。

活動実績発表大会では、JA中標津町青年部より「じゃがいも伯爵祭り&ふれあい広場」の軌跡について発表され、地域振興に悪戦苦闘しながらも貢献する部員達に感銘を受けました。アームレスリング大会では、石毛航君が出場しましたが、おしくも敗退しました。講演会とパネルディスカッションでは、「ポリシーブックと青年部」を議題とし、ポリシーブックを地域毎で作成することにより、課題の抽出、計画の作成、行動の実施、課題の反省が明確になり、青年部活動がより洗練され、地域への振興が深まる事が期待されます。

全道JA青年部大会が12月7、8日に開催され、「純農Boy」の根室地区代表として山本博一君が出場致します。健闘をお祈りします。《青年部事務局 小林係長》

今回は、根室地区JA青年部大会に参加した味元一幸君へ感想を聞きました！

・根室地区JA青年部大会に参加した事
はありますか？

⇒1回あります。

・参加してみてどうでしたか？

⇒見慣れた顔も多く、非常にリラックスして参加できました。

・講演会はどうでしたか？

⇒自分達の立場を説明する上での、ポリシーブックの重要性を強く感じました。

・大会で印象に残った事は？

⇒講演会での黒田さんの説明がわかりやすく面白かったです。

・最後に一言

⇒もっと個性を出していこう（ポリシーブックについて）

平成29年度

北海道をもっともーっと食べようランチパーティー開催!



子供と戯れるみるふちゃん

今年も『北海道をもっともーっと食べようランチパーティー』が11月23日ウェディングプラザ寿宴で開催されました。この行事は道産・管内産の食材を使用した料理を通して生産者の思いを伝え、多くの方々に農業を知ってもらおうと企画されています。

内容は料理やスイーツの提供、地元JAや乳業メーカーによる試食や展示即売会、ミス北海道米トークイベント、札幌よしもと芸人によるお笑いステージショー、お楽しみ大抽選会と多くイベントが行われました。今年も多くの方が来場し、大いに盛り上がりしました。

これからも道産・管内産食材のすばらしさを知って頂き、生産に携わっている地元の大切さを伝えていきたいです。

お忙しい中、参加して頂いた方々、本当にありがとうございました!!

《青年部事務局 小林係長》



満員御礼!!



女性部の皆さまによるスイーツ
(牛乳もち、フルーチェ)の提供



よしもと芸人「つちふまズ」との
大抽選大会 大盛り上がり!

牛乳に合う料理研究!

【シーズン2】～第1回～

牛乳は料理に使用することで減塩ができ、コクやうま味が増します。牛乳の良さをもっと広めるためこのコーナーを再開します。それでは、青年部員によるおいしい料理をご紹介します。

「ミルクご飯」作り方

- ①米はすばやく水洗いし、牛乳を入れて30分以上浸す。その後、炊飯器にセットする。
- ②ご飯が炊き上がった後、優しくふんわりほぐして出来上がり。

材料／2人前

米……………180g
牛乳……………200ml

【食レポ】

ご飯の甘みが強まり、豚汁の深みが増しまろやかな味となり、たいへん美味しかったです。

【改善ポイント】

炊き上がったごはんは若干芯が残っていたため、水または牛乳を足す必要がありそう。

「ミルク豚汁」作り方

- ①具材は下記を使用し、一口サイズにカットし、油で炒めます。
- ②スープは水および牛乳を入れて沸かします。次に火を弱め、味噌およびだしの素をいれます。
- ③出来たスープに炒めた具材を投入し、弱火で煮た後ひと煮立ちしたら出来上がりです。

材料／2人前

牛乳……………100ml
水……………200ml
だしの素……小さじ1
味噌……………大さじ1.5
油……………小さじ1

■具材

豚バラ肉……………50g
人参……………1/4
じゃがいも……………1/2
豆腐……………50g
玉ねぎ……………1/4
糸こんにゃく……20g



部員達による料理開始!



ミルクご飯、ミルク豚汁完成!

根室管内J A酪農視察研修



今回、私は根室管内J A海外酪農視察研修に参加させて頂き、日本以外の酪農先進国を現地で触れ、素晴らしい経験を積むことができました。研修先は、ドイツとスウェーデンの2か国で、目的は「搾乳ロボット導入による労働体系の改善および省力化」、「チモシー草地の更新体制」、「クロスブリーディング」の3つでありました。

1つ目のテーマでは、デラバル社「VMS」およびレリー社「アス

トロノート」の導入牧場を視察させて頂きました。労働力の負担が搾乳ロボットにより軽減されており、他に施設のレイアウト、ハーブドナビゲーターの導入および給餌作業等の自動化など動線の効率化が図られていました。日本の酪農は補助事業により搾乳ロボットが急速に普及し、今後それに伴う技術や知識が生産現場で要求されると思われます。2つ目のテーマでは、視察先の草地更新方法が紹介されました。圃場更新はチモシー主体で3年毎に行っており、圃場の管理技術やサイレージ品質が高い水準で維持していました。特に麦同伴栽培は、草地更新の初年度から粗飼料確保ができることから期待ができそうです。3つ目のテーマでは、ホルスタイン種、バイキングレッド、モンベリアル種による交配技術が紹介されました。この技術は、異種交配により繁殖性、耐病性、長命性が向上し、平均個体乳量が減少するが生産乳量は増加します。また、計画的に交配する必要がある、長所および短所を理解した上で一つの交

配手段として活用が期待できそうです。ただし、日本での技術実証や理解醸成など様々な課題解決に組み合わせが必要がありそうです。

近年、クラスター事業などにより施設整備や搾乳ロボットの導入が多く行われ、それにより、乳牛の管理形状および長命連産性が重要視されています。また、規模拡大による粗飼料確保や収益性の向上も必須とされます。今回の視察を通じて、学ん

だ技術や経験を業務に取り入れ、同行して頂いた皆さまと情報共有や連携をとりながら、様々な課題を解決し根室管内の酪農がますます発展できるように寄与していきたいと思えます。

最後となりますが、視察に参加できる機会を与えて頂いた農協、関係機関の皆様には心から深く感謝を申し上げます。

《営農振興課 小林係長》

行程表

日程: 2017年9月9日(土)～9月17日(日)

日付	曜	都市名	発着時間	交通機関	備 考
1	9/9	土	中標津空港 発 14:35 羽田空港 着 16:25	NH378	国内線にて羽田空港へ。 シャトルバスにて羽田空港国際線へ
2	9/10	日	羽田空港 発 0:50 フランクフルト空港 着 6:00	NH203 専用車	国際線にてドイツ フランクフルトへ 入国手続き後、市内観光 陸路、エアフルトへ移動(約4時間)
3	9/11	月	エアフルト フランクフルト	午前 専用車	専用車にて視察へ 【視察】LAPROMA 視察後、陸路フランクフルトへ移動
4	9/12	火	フランクフルト空港 発 7:10 ストックホルム空港 着 9:10 トゥムバ	LH800	空路、スウェーデンストックホルムへ 到着後、専用車にて視察へ 【視察】Hamra Farm(テラハル社手配) 10:30～12:50 専用車にてストックホルムへ ストックホルム市内観光 14:30～17:30
5	9/13	水	ストックホルム Knutby Uppsala ストックホルム	専用車 終日	専用車にて視察へ 【視察】Knutby Farm(テラハル社手配) 9:30～11:00 【視察】Angeby Farm(テラハル社手配) 15:45～17:00 視察後、ストックホルムへ
6	9/14	木	ストックホルム空港 発 8:30 ウメオ空港 着 9:30	SK24	空路、ストックホルムよりウメオ空港へ 到着後、専用車にて視察へ 【視察】ウメオ近郊視察
			ウメオ空港 発 19:20 ストックホルム空港 着 20:20	SK2031	空路、ウメオ空港よりストックホルム空港へ 到着後、専用車にてストックホルムへ
7	9/15	金	ストックホルム空港 発 8:15 ヨーテボリ空港 着 9:15	SK2151	空路、ストックホルムよりヨーテボリ空港へ 到着後、専用車にて視察へ 【視察】ファールショーピングにて視察
			ヨーテボリ空港 発 18:30 ストックホルム空港 着 19:30	SK2168	空路、ヨーテボリ空港よりストックホルム空港へ 到着後、専用車にてストックホルムへ
8	9/16	土	ストックホルム空港 発 6:05 フランクフルト空港 着 8:15 フランクフルト空港 発 12:10	LH809 NH204	専用車にて空港へ 空路、フランクフルトへ 乗継ぎ、羽田空港へ
9	9/17	日	羽田空港 発 6:35 羽田空港 着 12:15 中標津空港 着 13:55	NH377	到着後、入国手続き 空路、中標津空港へ

NH: 全日空 LH: フランクフルト航空 SK: スカンジナビア航空

■視察先概要

①LAPROMA FARM<ドイツ>

2013年に搾乳ロータリーロボットAMR搾乳システムを搭載した第2農場を建設している。これにより、1時間あたり80~85頭の搾乳が可能である。雇用問題を解決し規模拡大の実現がなされている。



②デラバル本社<スウェーデン>

生乳生産の為の4つの柱（アニマルウェルフェア・利益・環境・社会的責任）のバランスを取るとした考え方をもち、世界の100以上の市場で販売を行い、世界半分の搾乳機器を販売している。



③デラバル本社 HAMRA FARM<スウェーデン>

ハムラ牧場はデラバル製品を開発し、テスト・評価するための研究施設であり、搾乳はいくつかの搾乳ストール（ヘリンボーンパーラー、パラレルパーラー、VMSユニット）で行われている。また、様々な生産システムのための実験用ストールがある。



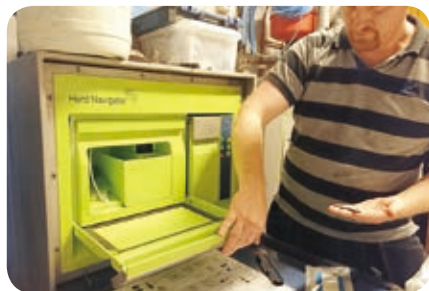
④KNUTBY FARM<スウェーデン>

体細胞測定機付き搾乳ロボット（VMS）を導入しており、労働の省力化による規模拡大の実現がなされている。他にも、個体管理や牧草収穫でも高い技術を有している。



⑤ANGEBY FARM<スウェーデン>

安定的な外部雇用や過重労働の課題解決に向けて、搾乳ロボット（VMS）およびハードナビゲーターを導入しており、労働の省力化による規模拡大の実現がなされている。



⑥HERRGARDSFABODA AB<スウェーデン>

年3回収穫し3年毎に圃場を更新しながら、飼養管理技術が高い水準で維持を努めている。他にも、近隣農家を集めて見学会を実施している。



⑦HERRGARDSFABODA AB<スウェーデン>

他と同じく3年毎に圃場を更新し、大麦の同伴栽培を実施している。これにより、初年度から収穫が可能となり飼料不足を回避している。



⑧LANTMANNEN LANTBRUK<スウェーデン>

強く競争力のある農業の創出に貢献する作物栽培、穀物および家畜生産のための製品とサービスを開発し提供している。他にも、様々な試験が行われており、2種類の飼料を用いて採食量、採食時間、乳量、重量、反芻回数などの比較やアミノ酸の影響などに取組んでいる。



⑨VIKINGGENETICS INTERNATIONAL SWEDEN<スウェーデン>

北欧の主要3国（デンマーク・スウェーデン・フィンランド）の生産者によって組織され、種牡牛作出・管理し精液を販売している。3国での市場シェアは90%におよぶ。本社所在地はデンマーク。



第73回 北海道家畜人工授精師技術研修大会に参加しました！



10月12日、13日に中標津町トヨグランドホテルで行なわれた北海道家畜人工授精師技術研修大会に酪農課中係が発表しました。中係は計根別農協におけるホルスタイン種の後継牛確保への取り組みと題し、性選別精液の活用や、和牛受精卵移植など計画的な交配の効果を発表しました。全道各地から21題の発表があり、技術の向上、最新情報の交換の場となりました。

第25回 北海道乳房炎防除研究会

11月14日、札幌市において第25回北海道乳房炎防除研究会が開催されました。

当JAから「新規就農者の良質乳生産への取り組み」と題して養老牛地区の中澤憲一牧場が、就農6年目における現状の成果を優良事例として300名の参加者の中、奥様の忍さんと生乳販売課高橋課長と共に対話形式で発表されました。

中澤牧場における一日の作業内容から、こだわりの管理と作業のあれこれを解りやすくスライドで説明し、これからの新規就農予定者は勿論、既存の生産者へも参考になる事例として評価を得られました。

現状の成果として個体乳量で13,000kg、体細胞数5年連続6万/ml以下、生菌数3年連続0.1万/以下を継続しており、今後に向けJAもサポートを続けて行きたいと思っております。



初めての搾乳体験



体験談を語る

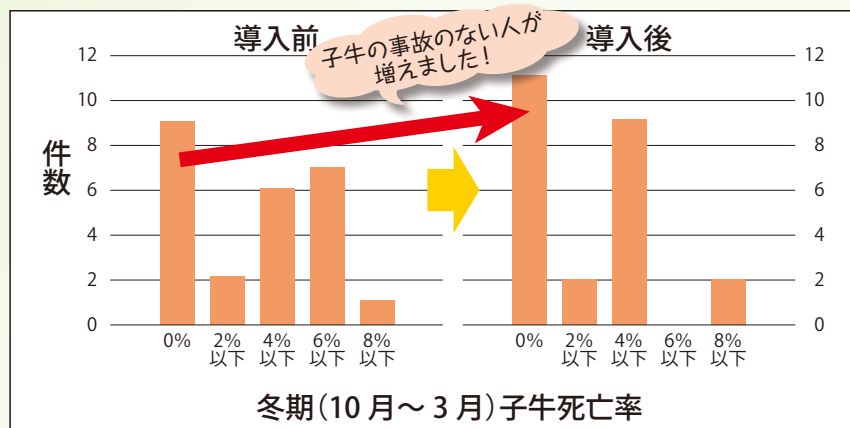
中標津農業高校教諭が農業体験 食農教育の実践

教育と農業が連携し担い手の定着を図るため、中標津農業高校の3名の教諭が酪農体験を行いました。

体験先は上標津久保牧場・養老牛中村牧場で参加した教諭は『乳房の温もりに驚いた。作業は刺激的な場面の連続』『哺育する瞬間が忘れられない』と感想を語ってくれました。

酪農体験で得た見識を、今後の教育現場で発信し、子供たちが酪農や地域に関心を持っていただければと思います。





昨年度から徐々に導入が広がり、現在約50件の方が使用しています。冬場(10月～3月)の子牛の死亡率(出生後1か月以内)を比較したグラフを掲載します。(2015冬期と2016冬期の比較)。

冬です!カーフウォーマーです!



子牛の死亡率が高い方もまだいますが、全体的には死亡率が低い方の割合が増えたと考えています。他にも、初乳の飲みが良くなった、毛がふわふわに乾く、気づかないうちに生まれてしまつて冷え切っていた牛が助かった、などなど好感触な声が多数聞かれます。一方で、元気の良い子牛を出し入れするのに一苦労、床材の網で爪が削れるのが気になる、という声もありました。子牛価格の高いこの時期に1頭でも無駄にしないためにカーフウォーマーはいかがでしょうか?

■使用にあたっての注意点

- ①生まれた子牛は綺麗に拭くか、親牛に舐めさせるなどしてから入れましょう
- ②時々様子を見ましょう
- ③初乳を飲ませるタイミングに注意
- ④清掃をこまめに行いましょう
- ⑤火災に注意
- ⑥電気の契約量を確認しましょう

例もありますので、くれぐれも忘れないでください。

③初乳を飲ませるタイミングに注意

初乳から抗体が獲得できるのは生後12時間程度までです。カーフウォーマーに6時間入れた後、初乳を飲ませても問題はありませんが、初乳の吸収効率は生まれてから時間の経過とともにどんどん下がってきますので、あまり遅くならないように注意が必要です。

④清掃をこまめに行いましょう

生まれた直後の、なんの抵抗力もない子牛が入るケースです。清潔に保つように、こまめに清掃をしましょう。

⑤火災に注意

ヒーターは電熱線式ではありませんが、電気は使用します。万が一に備え、麦稈や乾草に埋もれたような状態で使用するのを避けましょう。

⑥電気の契約量を確認しましょう

ヒーターは一定の電力を使用します。ブレーカーが落ちたという事例もありますので、契約量を確認しましょう。

准組合員について学ぶ

(全4回シリーズ)

J Aグループ北海道は、「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」を通じて、J Aグループに共感し、ともに行動して頂ける仲間づくりを進めています。国が進める「准組合員利用規制」の議論に待ったをかけるべく、組合員の皆で声を上げていきましょう。

最終回 JAのサポーターとしての准組合員



J Aグループ北海道が、「サポーター550万人づくり」を進めているって聞いたけど、どんな取り組みなのかな？僕らもサポーターになれるかな。

北海道で作られた農畜産物を食べることはもちろん、農業・農協・農村を応援したいという想いを持って、J Aグループとともに行動する仲間を「サポーター」と位置づけているよ。平成28年12月にアンケートをしてみたら、北海道の農畜産物を優先的に食べて、農業を応援したいと考える人が、道内には400万人もいる計算で、准組合員数の28万人よりずっと多いんだ。



道民のほとんどは食べるサポーターなんだ！僕もサポーターとして行動したいけど、J Aは、地域でどんな協同活動に取り組んでいるの？

J Aの広報誌やコミュニティ誌で、組合員の皆さんに紹介されている内容を例に挙げると、特色のある色んな取り組みをしていることがわかるよ。

- 地域協同活動(高齢者見守り、子ども食堂、移住者支援、街並み美化 等)
- 地域インフラ(移動購買車、移動金融車、高齢者支援 等)
- 地域食農教育(農業体験、出前授業、バケツ稲 等)
- 地域連携事業(地域祭り等の催事、行政・漁協・商工会・企業・大学連携 等)
- 情報発信(移住者・交流人口増加に向けた農と地域の魅力発信 等)



J Aは、地域に根差した色んな協同活動をしているんだね。僕も一緒に参加したいなあ。

J Aは、地域に住む組合員ニーズに応えるのが役割だからね。「正・准組合員アンケート(平成29年11月以降実施予定)」などを使って皆の期待に応えることで、「これからもJ Aは地域に必要なだよ」と言ってもらえるよう頑張っていくよ。



准組合員やJ Aの取り組みがよくわかったよ。僕もJ Aの協同活動に参加しながら、准組合員の利用規制に反対の声を上げて行くね。



I 乾乳牛編 (ここでの管理が次乳期の乾物摂取量を左右する重要な期間!!)

乾乳期は、母子ともに健康な状態で分娩を迎えるための大切な準備期間です。

分娩前後は免疫力が低下しやすい時期でもあり、この時期の乾物摂取量低下は、周産期疾病発症の原因となります。乾乳牛は、胎児の急激な成長により第一胃が圧迫され、生理的に乾物摂取量が落ちやすくなりますが、環境ストレスにより、さらに乾物摂取量を落とすことがないように、1つ1つのストレスをできるだけ小さくする必要があります。

①自由に動ける、広さに余裕のある飼養場所の確保

できるだけ自由に動ける飼養形態をとみましょう。その場合、行き止まりの無いレイアウトとし、広さを確保することで競合によるストレスを避けましょう(表1)。

また、やむを得ず係留する場合は、以下の点に注意しましょう(表2)。

■表1 フリーの飼養形態における広さの考え方

形態	スペースの考え方・目安
フリーバーン	休息スペースとしての広さ
前期	10～12㎡/頭
後期(分娩前3週間)	12～14㎡/頭
フリーストール	ベッドの数と1頭あたりの飼槽幅を比べて、より少ない(せまい)方で考える
前期	収容頭数以上にしない(飼槽幅:60cm/頭以上)
後期(分娩前3週間)	収容頭数の8割以下(飼槽幅:75cm/頭以上)

■表2 係留の場合の注意点

・ニューヨークタイストール等、自由度の高い係留方法を選択
・尿溝にスノコを設置して牛床の長さを確保
・搾乳牛の餌を食べないように、盗食防止の工夫が必要(写真1)
・初妊牛と経産牛(強い牛)の競合に注意した並べ方
・他の牛舎から移動する場合は、遅くとも2週間前まで



写真1 ニューヨークタイストールに自作の盗食防止板を設置

②寝起きが楽にできる、安心して歩ける環境

- ・牛床マットを利用し、滑らず、やわらかい寝床を用意しましょう(JA等の助成も有効利用!)(写真2)。
- ・乾いた敷料を、たっぷり入れましょう
- ・特に冬期間は、乾乳牛といえどもお腹を冷やさないことが大切です。
- ・土を踏ませることで蹄の休息になりますが、その際は、十分な面積の確保、排水、適度な掃除により、凸凹やぬかるみを防止することが必須です。



写真2 牛床マットと敷料を敷いた乾乳牛舎(分娩房)

生乳販売情報

平成29年度10月末 管内農協生乳受託実績表

(kg)

農協名		月計		累計		搾乳戸数
		乳量	前年比	乳量	前年比	
JA 標津町		8,479,200	101.7	61,045,098	102.3	132
JA 中標津町		10,416,375	99.2	74,236,524	98.1	168
JA けねべつ		7,205,676	99.2	51,968,570	98.9	138
JA 中春別		10,164,330	102.2	70,978,620	100.3	169
道東あさひ	西春別支所	7,617,477	103.4	53,417,384	100.9	137
	上春別支所	5,223,680	106.1	36,516,227	103.2	71
	別海本所	12,587,695	100.2	89,870,306	97.9	238
	根室支所	4,096,821	101.1	28,762,645	99.5	82
	小計	29,525,673	102.2	208,566,562	99.8	528
合計		65,791,254	101.3	466,795,374	100.9	1,135

市場情報

ホクレン根室家畜市場 一般市場 11月22日開催分

税込み

畜 種	出場	成立	最 高	最 低	平 均	先月との差
乳牛・ホル 育成	71	67	611,280	86,400	455,970	-6,466
乳牛・ホル 初任	17	15	900,720	106,920	647,136	20,967
乳牛・ホル 経産	31	29	513,000	108,000	275,810	-122,959
乳牛・ホル・無経産	9	8	465,480	86,400	267,030	-174,960
肉素・黒毛和種・メス						
肉素・黒毛和種・オス						0
肉素・黒毛和種・去						0
肉素・乳用交雑・メス	1	1	72,360	72,360	72,360	0
肉素・乳用交雑・オス	2	2	130,680	77,760	104,220	0
肉素・ホル中犢・メス						
肉素・ホル中犢・オス						-37,260
肉素・ホル中犢・去						0
肉素・ホル・メス	13	13	277,560	82,080	215,751	-1,239
肉素・その他・去						-108,000
初生・黒毛和種・メス	18	15	560,520	173,880	435,960	-20,232
初生・黒毛和種・オス	45	44	683,640	237,600	515,013	14,811
初生・乳用交雑・メス	120	120	236,520	43,200	165,042	23,629
初生・乳用交雑・オス	105	103	340,200	50,760	266,613	31,671
初生・ホル・オス	160	159	192,240	1,080	124,146	19,562
初生・ホル乳用・メス	26	26	389,880	70,200	283,749	-25,163
初生・異性双児・メス	9	9	86,400	11,880	59,160	14,700
初生・その他・メス						
初生・その他・オス	1	1	5,400	5,400	5,400	-16,200
廃用黒毛和種	3	3	271,080	214,920	235,440	96,120
廃用・ホル	192	192	281,880	18,360	131,822	2,946
廃用・その他	2	2	119,880	30,240	75,060	

ホクレン十勝地区家畜市場 (音更町)

肉牛 (和牛) 市場 11月17日開催分

税込み

畜 種	出場	成立	最 高	最 低	平 均	先月との差
肉牛・黒毛 メス	422	398	872,640	378,000	667,481	64,801
肉牛・黒毛 メスET	249	223	1,104,840	405,000	735,708	87,967
肉牛・黒毛 メス計	671	621	1,104,840	378,000	691,981	-8,382
肉牛・黒毛 オス	1	1	517,320	517,320	517,320	
肉牛・黒毛 去勢	626	584	1,142,640	332,640	796,003	37,551
肉牛・黒毛 去勢ET	359	312	1,170,720	594,000	835,685	86,351
肉牛・黒毛 去勢計	985	896	1,170,720	332,640	809,820	-4,993
肉素・肉専用種 去勢						
繁 殖 ・ 黒 毛	81	81	488,160	76,680	260,240	-338,534
廃 用 ・ 黒 毛	1	1	157,680	157,680	157,680	-95,091

計根別農協乳牛頭数・肉用牛頭数

11月1日現在

乳 用 種 (区分)	頭 数	先月との差
未 経 産 1 2 ヶ 月 未 満	3,455	-45
未 経 産 1 2 ヶ 月 以 上	4,233	-30
そ の 他 の 未 経 産	55	-1
計	7,743	-76
経 産 牛 (ホ ル)	10,009	-105
そ の 他 の 経 産 牛	45	1
計	10,054	-104
合 計	17,797	-180

肉 用 種 (区分)	頭 数	先月との差
黒 毛 和 種 メ ス	550	32
黒 毛 和 種 オ ス	65	0
計	615	32
F 1 (交 雑 種) メ ス		
F 1 (交 雑 種) オ ス		
計		
合 計	615	32
総 合 計	18,412	-148

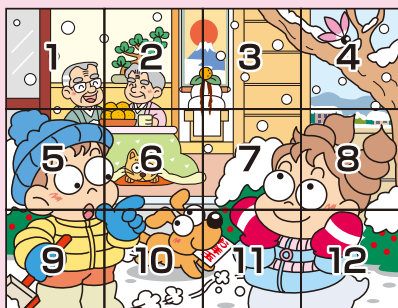
ホクレン根室家畜市場 乳牛市場 (セール) 11月23日開催分 税込み

畜 種	出場	成立	最 高	最 低	平 均	先月との差
乳牛・ホル 初妊	375	332	1,199,880	442,800	808,787	42,602
乳牛・ホル初妊ET	39	33	1,112,400	724,680	953,215	15,817
乳牛・ホ無 初妊	4	4	941,760	702,000	794,610	125,010
乳牛・ホル 経産牛	2	2	374,760	345,600	360,180	-127,980
その他の乳用種	1	1	324,000	324,000	324,000	-378,000
合 計	421	372	1,199,880	324,000	648,158	-141,400

計根別農協(ホクチクファーム) 初生トク *₀単価 11月27日現在 2,500円/kg

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分が**5カ所**あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



●正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所入り口に設置している投書箱へ。または、営農企画課までFAX(78-2048)をお願いします。

《締め切り》平成29年12月20日まで
当選者の発表は「けねべつ」1月号誌上

まちがいさがし11月号の答え

2 4 6 9 11

抽選の結果右記の方が当選いたしました。
プレゼントを営農企画係でお受け取り下さい。

小林 光雄さん
三瓶美代子さん
宮武 末子さん
佐藤 広光さん
小林 孝さん

きりとり線

まちがいさがし 12月号の答え

--	--	--	--	--

住 所

氏 名

T E L

「つばやくべえ」へ投稿する

つばやくべえ～



■雪が降ってきました

除雪はなるべくしないで済んでほしいなー!!

(ペンネーム 山オヤジ)

■各地で、目撃情報があるそうです!

最近、黒いキツネを見かけました。だまされてるのかナ

(ペンネーム ビックリさん)

■寒さに耐えて、甘くなる

珍しく遅くまでできたキャベツ。シートをかけて霜に当たり雪に当たり、毎日食べて甘くてとってもおいしいです。(ペンネーム なかよしさん)



今月の義を見てせざるは勇無きなり

早いもので、平成29年も残すところあとわずかとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか?

やりたいことはできましたか?目標は達成できましたでしょうか?もしかしたら、無駄な事をしたと思って後悔していませんか?

目標は人それぞれ違いますが、誰もが、決めた目標を楽に簡単に達成できれば良いなあと考えていますし、それは当然だと思います。

前回、やるという強い覚悟と勇気をもてば、行動はもう始まっていると述べましたが、覚悟をもって行動を起こしてみたけど、色々な事情により、時間をとられ、なかなか目標達成までいかなかった…。という方もいるのではないのでしょうか?

「いつも最短の近道を試みたが『一番の近道は遠回りだった』『遠回りこそが俺の最短の道だった』」

アメリカのジャイロ・ツェベリ氏の言葉です。

皆様が歩んできた道は無駄ではなく、その行動一つ一つが何かを達成する為の足掛かりです。やろうと思っていたことはできなかったとしても、その悔やむ気持ちが目標達成の一步です。

自分の行動に悲観せず、前を向いて進んでいただければと思います。

「『覚悟』とは暗闇の荒野に進むべき道を切り開くこと」

イタリアのジョルノ・ジョバーナ氏の言葉です。

皆様の覚悟がこの年末、そして翌年へ向かっての素晴らしい道となることを期待しております。

きりとり線

この写真を見て一句！



先月のお題『紅葉したハート』でした。

霜月を 真紅に染める 庭低木

(大成SKさんの作品)

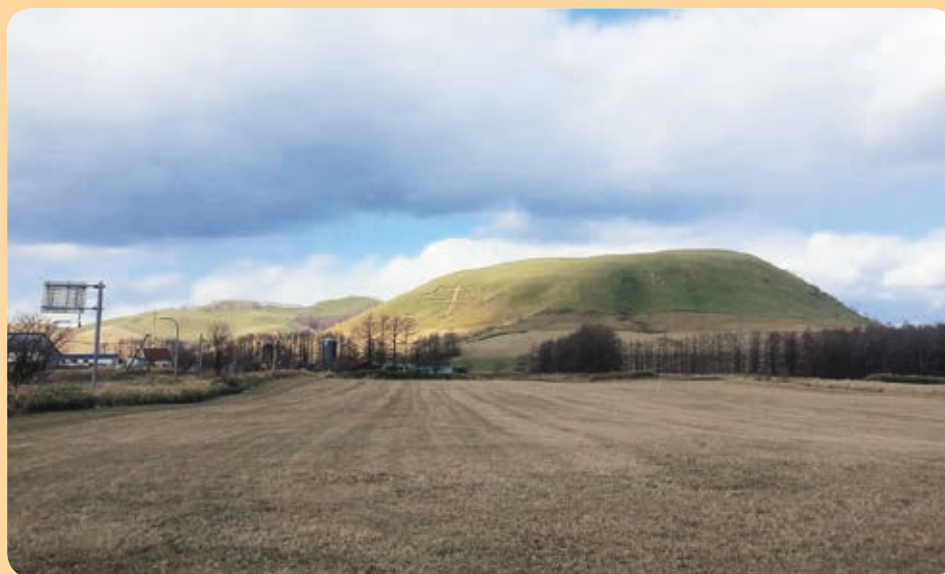
ひとりきて 脳にしみいる べにもみじ

(なかよしさんの作品)

■ 例 文 ■

牛の山 吐く息白く 冬の雲

(ナランチャさんの作品)



今月のお題『冬を迎える』です。皆様の作品お待ちしております。
(12月20日締切) 営農部までFAXまたはつぶやくベで

